

請願・陳情参考資料

平成22年6月1日

教育委員会

陳情（継続）

受理番号 (受理年月日)	所管	件名及び提出者	現状と県の取組状況
22年-6 (22.2.10)	教育	高校授業料の無償化に際し、今まで減免制度を利用していた家庭への県独自の新たな就学支援制度をつくることについて 鳥取県ゆきとどいた教育をすすめる会	実質増税になる世帯について、税制改正大綱に「現行よりも負担増となる家計については適切な対応を検討します」と明記されており、その動向を見守りたい。 なお、厳しい経済状況が続いていることから、本県では、申請者全員に奨学金を貸与することができるよう、奨学生採用枠を拡充している。 事業名：育英奨学事業 新規採用枠：平成20年度 835名（新規採用実績 709名） 平成21年度 940名（新規採用実績 784名） 平成22年度 940名（新規採用予定 約700名）

陳情（新規）

受理番号 (受理年月日)	所管	件名及び提出者	現状と県の取組状況																																																																																		
22年-13 (22.5.24)	教育	鳥取県立倉吉東高等学校及び鳥取県立米子東高等学校に設置されている専攻科の存続について 中部地区高等学校PTA連絡協議会 西部地区高等学校PTA連絡協議会	倉吉東高等学校専攻科及び米子東高等学校専攻科について、県内の経済情勢、県内民間予備校の実績、生徒・保護者のニーズ及び県民の意向などを総合的に勘案し、現時点では廃止の状況にはないと考えており、今後、県議会のご意見などを踏まえ、教育委員会で決定したい。 【現状】 (1) 県内の経済情勢 保護者の経済状況は、極めて厳しい現状にある。 ○平成21年度末における授業料減免率 全日制・定時制課程：25.7% (平成14年度の9.0%から7年連続して上昇) 専攻科：21.5% (平成19年度の14.7%から急激に上昇) ○県育英奨学資金 (高校等奨学金) 新規貸与者数：784人 (平成16年度の452人から大幅に増加) (2) 県内民間予備校の実績 県内民間予備校の実績も上がっているが、鳥取東高等学校専攻科廃止時点の東部地区の状況と比較した場合、中・西部地区では、専攻科の実績が依然として高い状況にある。 <table><tr><th colspan="3">区 分</th><th>国公立</th><th>私立</th><th>短大</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="5">平成21年度 未合格状況</td><td>東部</td><td>予備校(2校分)</td><td>118</td><td>284</td><td>6</td><td>24</td><td>432</td></tr><tr><td rowspan="2">中部</td><td>専攻科</td><td>56</td><td>132</td><td>1</td><td>3</td><td>192</td></tr><tr><td>予備校(2校分)</td><td>13</td><td>76</td><td>1</td><td>5</td><td>95</td></tr><tr><td rowspan="2">西部</td><td>専攻科</td><td>43</td><td>85</td><td></td><td>2</td><td>130</td></tr><tr><td>予備校(2校分)</td><td>26</td><td>104</td><td></td><td>7</td><td>137</td></tr><tr><td rowspan="6">平成20年度 未合格状況</td><td rowspan="2">東部</td><td>専攻科</td><td>35</td><td>46</td><td>2</td><td>6</td><td>89</td></tr><tr><td>予備校(2校分)</td><td>67</td><td>249</td><td>4</td><td>4</td><td>324</td></tr><tr><td rowspan="2">中部</td><td>専攻科</td><td>57</td><td>142</td><td>1</td><td></td><td>200</td></tr><tr><td>予備校(2校分)</td><td>8</td><td>71</td><td>2</td><td>4</td><td>85</td></tr><tr><td rowspan="2">西部</td><td>専攻科</td><td>45</td><td>129</td><td>2</td><td>3</td><td>179</td></tr><tr><td>予備校(2校分)</td><td>31</td><td>83</td><td>7</td><td>4</td><td>125</td></tr></table>	区 分			国公立	私立	短大	その他	合計	平成21年度 未合格状況	東部	予備校(2校分)	118	284	6	24	432	中部	専攻科	56	132	1	3	192	予備校(2校分)	13	76	1	5	95	西部	専攻科	43	85		2	130	予備校(2校分)	26	104		7	137	平成20年度 未合格状況	東部	専攻科	35	46	2	6	89	予備校(2校分)	67	249	4	4	324	中部	専攻科	57	142	1		200	予備校(2校分)	8	71	2	4	85	西部	専攻科	45	129	2	3	179	予備校(2校分)	31	83	7	4	125
区 分			国公立	私立	短大	その他	合計																																																																														
平成21年度 未合格状況	東部	予備校(2校分)	118	284	6	24	432																																																																														
	中部	専攻科	56	132	1	3	192																																																																														
		予備校(2校分)	13	76	1	5	95																																																																														
	西部	専攻科	43	85		2	130																																																																														
		予備校(2校分)	26	104		7	137																																																																														
平成20年度 未合格状況	東部	専攻科	35	46	2	6	89																																																																														
		予備校(2校分)	67	249	4	4	324																																																																														
	中部	専攻科	57	142	1		200																																																																														
		予備校(2校分)	8	71	2	4	85																																																																														
	西部	専攻科	45	129	2	3	179																																																																														
		予備校(2校分)	31	83	7	4	125																																																																														

			(3) 生徒・保護者のニーズ 専攻科に対するニーズは依然として高い。 ○平成22年度専攻科入試の競争倍率 倉吉東専攻科：1.3倍、米子東専攻科：1.6倍 ○専攻科の現状のままの存続を望む生徒の割合 [平成22年度 普通科高校2・3年生（中部地区3校、西部地区3校）に実施したアンケート調査結果] 中部地区：82.5%、西部地区72.3% (4) 県民の意向等 多くの県民から専攻科存続等を求める要望がある。 ○本陳情には、21,981名の署名が添付 ○「鳥取県立倉吉東高等学校専攻科存続に係る検討についての要望」 (中部地区行政振興協議会(中部地区市町長・議長)、平成22年1月25日)
--	--	--	--